

## 基本構想の指標について

指標設定の目的	<p>●基本構想の目指す姿と、その目指す姿に近づいているかどうかを表すとともに、県の強み弱みを把握する。</p> <p><b>【目標管理ではなくモニタリング的に使用】</b></p>
指標選定の視点	<p>①県の姿を表す客観的な統計データを基本に、必要に応じて、県政世論調査による主観データを併用。 （一般的にわかりやすい、全国比較が容易なもの）</p> <p>②県の政策実施と相関関係が高い指標に限定しない。 （みんなで目指す姿をイメージできるもの）</p> <p>③県の姿を多面的に示すため、各柱（人、経済、社会、環境）毎に、多くの指標を用いる。</p>
評価の方法	<p>●毎年度把握し、報告、公表 （年 1 回、その時点の各統計データの最新値に更新）</p>

# 基本構想の指標のイメージ

個別の指標については今後調整

## I【人】 自分らしい未来を描ける健やかな生き方

### (1) 生涯を通じた「からだところの健康」

項目	調査名
健康寿命(日常生活動作が自立している期間の平均)	衛生科学センター算出値(厚生労働科学研究班算式による)
平均寿命と健康寿命の差	衛生科学センター算出値(厚生労働科学研究班算式による)
一人当たり医療費	平成27年度国民医療費の概況(厚生労働省)
スポーツ行動者率	平成28年社会生活基本調査(総務省)
学習、ボランティア、趣味等に参加した人の割合	平成28年社会生活基本調査(総務省)
要介護認定を受けていない人の割合(65歳以上)	介護保険事業状況報告(厚生労働省)
自殺死亡者数(人口10万人あたり)	平成28年人口動態統計(厚生労働省)

### (2) 柔軟で多様なライフコースの実現

項目	調査名
30歳以上の学生数	平成27年国勢調査(総務省)
学習・自己啓発・訓練の実施時間	平成28年社会生活基本調査(総務省)
「自分には、よいところがあると思う」	平成29年度全国学力・学習状況調査
希望者全員が65歳以上まで働ける企業割合(従業員31人以上)	平成29年「高年齢者の雇用状況」(厚生労働省)
65歳から69歳の有業率	就業構造基本調査
在宅勤務、モバイルワーク、サテライトオフィス勤務導入企業数	平成29年労働条件実態調査 国:平成28年通信利用動向調査

など

## II【経済】 未来を拓く 新たな価値を生み出す産業

項目	調査名
管理的職業従事者の女性比率	就業構造基本調査
女性、高齢者、若者、外国人労働者数(率)	就業構造基本調査
障害者法定雇用率達成企業の割合	障害者雇用状況の集計結果(厚生労働省)
一人当たり県内総生産	県民経済計算(内閣府)
1事業所当たりの付加価値額	経済センサス(総務省)、工業統計調査(経済産業省)
開業率・廃業率	雇用保険事業年報(厚生労働省)
農林水産業産出額	農林水産統計「農業産出額及び生産農業所得」など
観光消費額	観光入込客統計調査

など

## III【社会】 未来を支える 多様な社会基盤

項目	調査名
道路整備率	道路統計年報(国土交通省)
都市公園面積	都市公園等整備現況調査(国土交通省)
人口1万人あたりの刑法犯認知件数(犯罪率)	犯罪統計(警察)、人口統計(自治体)
交通事故による死者数、死傷者数	交通事故統計(警察)
自主防災組織の活動カバー率	自主防災組織の都道府県別決裁状況(総務省消防庁)
日用品の買い物に不便をきたしている者の割合	食料品アクセス困難人口の推計値(農林水産政策研究所)

など

## IV【環境】 未来につなげる 豊かな自然の恵み

項目	調査名
琵琶湖の水質(窒素、りん)	水質常時監視(滋賀県等)
温室効果ガス削減率(対2013年度比)	滋賀県調査
エネルギー削減率(家庭・事業所)	都道府県別エネルギー消費統計(資源エネルギー庁)
ボランティア活動行動率(自然や環境を守るための活動)	平成28年社会生活基本調査(総務省)
1人1日当たりごみ排出量	一般廃棄物処理実態調査(環境省)

など